

君と僕 互いの力生かし合う  
共同参画パートナー

## 登別市男女共同参画情報紙

No.10

～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に  
そして、自分らしく生きていくために～

### 平成25年度男女共同参画週間事業 男女共同参画社会に向けた作品（ポスター）

平成11年6月23日は「男女共同参画基本法」が施行された日です。これを記念して毎年6月23日から29日までの1週間を男女共同参画週間としています。

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集しました。その中から、ポスターの入賞作品を紹介します。

優秀賞



鷺別中学校 荒井 優花

最優秀賞

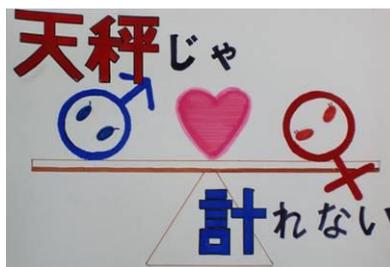


鷺別中学校 三浦 日菜子



鷺別中学校 南出 紫音

入賞



鷺別中学校 堤 雄吾

入賞

入賞



鷺別中学校 津田川 友菜

## 男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。（男女共同参画基本法第2条）

### ※「アンダンテ」のネーミングについて

音楽記号の一つにある「アンダンテ」は、「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味です。男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進むように」という期待を込め、名付けました。

# 男女共同参画フォーラム2013を開催しました

日 時：平成25年11月17日（日）13時00分～15時00分  
会 場：登別市民会館  
テ ー マ：～私は男女平等を憲法に書いた～ ベアテ・シロタ・ゴードン  
ビデオフォーラム



出典：ドキュメンタリー工房

男女共同参画意識が徐々に高まる中、原点に戻り、男女共同参画社会の実現に向け、更なる意識改革を図ることを目的に、ビデオ視聴とワークショップを実施。

1923年、リストの再来といわれたロシアのピアニスト、レオ・シロタの娘として、ウィーンで生まれる。5歳の時、東京音楽学校に赴任した父とともに来日。その後、両親を日本に残し、米国に留学。戦後、GHQのスタッフとして再来日。22歳の若さで日本国憲法草案の人権条項作成にたずさわる。特に、女性の権利を明記させることに尽力する。後年は、アジアの文化発展のための国際的な活動を続ける。2012年12月30日ニューヨークの自宅にて89歳で死去。

ビデオ視聴後に参加者が6グループに分かれ感想や意見を出し合い、その意見を全体会で発表しました。

\* 出された意見等について \*

- ・ 私たち人間が憲法に近づく努力が必要では。
- ・ 戦争が終わったことで新憲法が生まれた。終戦がなければ今頃どうなっていたのか。
- ・ 家庭が人権の基本であるというベアテさんの憲法策定の考えはすばらしい。
- ・ 私たちの意識改革が今後の課題。
- ・ 当時の男社会の中でGHQが彼女を登用したことが日本にとっては大きな宝になった。



～男女共同参画フォーラム2013アンケートより～

- 戦前は日本になかった男女平等の権利意識を憲法草案に入れたのは素晴らしい。享受できる今に感謝。
- ベアテ・シロタ・ゴードンさんのおかげで、今の女性たちは男女平等の憲法があることを知りました。
- ここ数年参加していますが、若い方や男性の参加を増やさなければと思います、私も協力したいと思います。

## 男女共同参画作品展・表彰式

登別市では、男女共同参画のイメージを自由に表現した作品を募集しました。今年度で4回目の開催となりましたが、標語245作品、習字762作品、ポスター21作品と多くの応募がありました。なお、作品は、6月23日から29日までの男女共同参画週間期間中、登別市民会館に展示しました。

さらに、11月17日の「男女共同参画フォーラム2013」の席上で表彰式を行いました。



男女共同参画作品展  
(6/23～6/29)

# 小学4年生向け啓発冊子「男らしく？女らしく？自分らしく！」アンケート結果

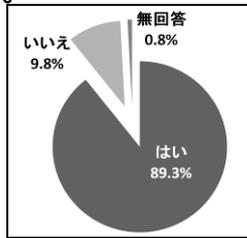
市では、平成16年度から、男女共同参画啓発冊子を配布、平成17年度からは保護者へのアンケートにもご協力をお願いしています。このアンケートは、身体的な特徴の違いが表れ、子育てでも男の子・女の子を区別・意識する時期である小学4年生児童を対象に実施しています。アンケートにご協力いただきました児童の皆さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。

## 児童向けジェンダーチェック結果

※ 回収率 81.0% (前年度回収率50.1%)

- リーダーは男子でも女子でもいいなと思う。

	平成 25 年度(%)	平成 24 年度(%)
はい	89.3	89.9
いいえ	9.8	10.1
無回答	0.8	0.0
計	100.0	100.0



### ジェンダーチェック結果より

昨年度よりもはるかに多い回答を得ることができ、子供たちの意識を細かく分析することができました。

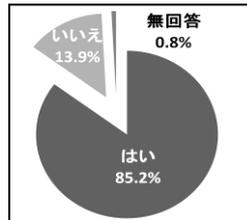
その内容から、普段から子供たちの多くがお互いの個性を認め尊重し合っていることがうかがえます。

これからも、子供たちの個性を伸ばし育て男女共同参画社会の発展に、力を入れていきたいと思ひます。



- 「女のくせに」「男のくせに」という言い方はない方がいいなと思う。

	平成 25 年度(%)	平成 24 年度(%)
はい	85.2	82.8
いいえ	13.9	15.7
無回答	0.8	1.5
計	100.0	100.0

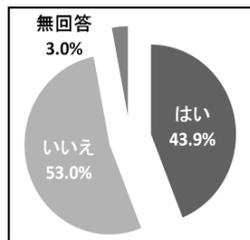


## 保護者向けアンケート結果

※ 回収率 43.8% (前年度回収率38.2%)

- 子育てにおいて、男の子は「男の子らしく」女の子は「女の子らしく」と意識していますか？

	平成 25 年度(%)	平成 24 年度(%)
はい	43.9	55.0
いいえ	53.0	39.7
無回答	3.0	5.3
計	100.0	100.0



### 保護者アンケート結果より

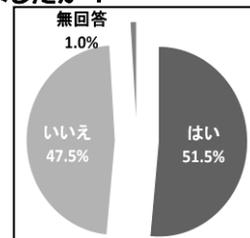
アンケートによると、保護者の約半数が「男だから」「女だから」と育てられてきたのに対し、自分の子供たちには「男らしく」「女らしく」を意識せず子育てをしているという結果が得られました。

これは、「男女を意識した子育て」から、「個性を大切にする子育て」へと意識が移り変わっているためと考えられます。

今後も男女共同参画についての関心や理解を深めることができる情報を提供していきたいと考えます。

- ご自身は「男だから」「女だから」と育てられましたか？

	平成 25 年度(%)	平成 24 年度(%)
はい	51.5	51.0
いいえ	47.5	47.0
無回答	1.0	2.0
計	100.0	100.0



- 冊子をご覧になって、どのような感想を持たれましたか？

- ・ “自分らしく”が一番だと思います。このような冊子を通して皆が個性を尊重出来る世の中がもっと進んでいくと良いと思いました。
- ・ 日本もここまで進んできたなと感じました。昔はグレーな部分は見て見ぬふりが当たり前の世の中でした。「個性的に」生きられるって素晴らしいと思います。
- ・ 女の子も男の子も自分らしく生きていくことを私も願っています。

## 男性が料理に挑戦！！ 男女共同参画出前講座

市では、男女が共に助け合う社会の実現を目指し、登別市男女共同参画実施計画の一環として、男性に料理を学んでもらう出前講座を開催しました。1月28日(火)に若山町4丁目の若汐の家において、富岸地区連合町内会の住民30名が参加されました。



- ・ 男性料理教室～大根としめじのカレー、おからサラダを作りました。
  - ・ 食事会～女性を誘ってみんなで美味しく戴きました。ごちそうさまでした。
  - ・ 紙芝居「オレのパンツどこ？」～地域の方による熱演に自然に笑みが・・・
  - ・ フリートーク～料理を通して様々な意見をいただきました。
- これからも継続的な取り組みとして地域へ伺いますので、ぜひ、ご参加ください！

## 「まちづくり」さらに求められる女性力！／町内会女性役員研修会開催される

日時：平成25年10月29日（火）13時30分～16時

場所：登別市鉄南ふれあいセンター

市連合町内会は、今年度も40町内会、90名の女性役員が一同に会して、第3回まちづくり研修会を開催しました。直面する地域活動やまちづくりに対する悩みや思いなどを語り、女性役員としての役割や、今以上に求められる女性の力とは何なのかなどについて、活発な意見交換が行われました。

冒頭、市連合町内会山田会長が、「女性の力で地域の活性化を・・・！」と題しての講話を熱く語り、9グループ別討議で意見交換を行いました。

\* 出された意見等について \*

- ①準備から後片付けに追われ、もっと、参加型の行事にすべき。
- ②高齢化で若手の役員登用が難しく、なり手がいない。
- ③避難訓練は、参加しやすい趣向を凝らしたものを・・・！
- ④今回、市連町の「女性部」設置等が提起されたが、時期尚早の意見。



### 配偶者暴力に関する相談 (DV)



### 児童虐待に関する相談

D V 相 談 ナ ビ  
0570-0-55210

(ここに電話)

登別市市民サービスグループ  
85-2139

#### 相談先のご紹介

24時間いじめ相談ダイヤル  
0570-0-78310

(なやみ言おう)

登別市いじめ・教育相談室  
(登別市教育委員会内)  
85-0085

児童相談所全国共通ダイヤル  
0570-064-000

登別市子ども虐待相談室  
85-6677



人 KEN まもる君



人 KEN あゆみちゃん

### いじめに関する相談

#### 編集後記

- この1年委員として活動に参加させていただき、男女共同参画とは単に平等な社会作りがテーマではなく、子供からお年寄りまですべての人たちが心豊かに暮らすための問題喚起なのだと思います。まだまだ未熟ですが 発見と充実の1年でした。ありがとうございました。(M. N)
- 男女共同参画社会を実現するためには、国や自治体の制度を整備すること、施策を行うことも大切です。しかし、それと共に、私たち一人ひとりがこのことを意識することが、この取り組みを社会に根付いたものにするのに必要です。そのための行事や情報提供を発信できればと感じています。(F. M)

#### あなたの声をお聞かせください

このアンダンテは、企画、原稿づくりなどを男女共同参画社会づくり推進会議委員がボランティアで作成しております。本誌への感想をはじめ、今後取り上げてほしいこと、あなたの率直なご意見、ご要望をお待ちしております。

#### 問い合わせ先

登別市市民生活部市民サービスグループ 〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地  
TEL: 0143(85)2139 FAX: 0143(85)7674 E-mail: simin\_danjyo@city.noboribetsu.lg.jp  
登別市男女共同参画情報誌「アンダンテ」第10号 発行日：平成26年3月  
企画・編集：登別市男女共同参画社会づくり推進会議  
アンダンテ企画・編集委員(千葉(早)、田淵、丸、渡部、田崎、小川、鳴海、松本)  
登別市ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>